

かまいいし

第70号

令和5年11月1日
釜石市教育委員会
釜石市只越町3-9-13
TEL 22-8832
FAX 22-3633



アマチュアラグビーの練習会場で
ル・ブリュスケ村長から記念品を受けました

当市は、震災時にディー・ニユ・
レ・バン市やロクシタン社から多くの
支援をいただきました。生徒た
ちは、自分のシャツや靴に日本語でサイ
ンを求めるなど大歓迎の様子で、生徒た
ちもその勢いに圧倒されていました。

生徒たちにとつて、自分たちの文化
が海外では「外国の文化」であることを
実感した時間となりました。

当市は、震災時にディー・ニユ・
レ・バン市やロクシタン社から多くの
支援をいただきました。生徒た
ちは、自分のシャツや靴に日本語でサイ
ンを求めるなど大歓迎の様子で、生徒た
ちもその勢いに圧倒されていました。

生徒たちにとつて、自分たちの文化
が海外では「外国の文化」であることを
実感した時間となりました。

市は、9月24日から10月1日まで、2024年4月に姉妹都市提携30周年を迎える姉妹都市ディー・ニユ・レ・バン市など（フランス）に、市内中学生6名を派遣し、海外体験学習事業を実施しました。

復興支援の感謝の発信 9月26日・27日

フランスの小学生との交流 9月28日

たちは同市内のマリア・ボレリ中学校やロクシタン社を訪問し、自分たちで考えた「復興支援への感謝のメッセージ」を一人ひとりが英語でスピーチ。心打たれるメッセージだったとの称賛をいただきました。

令和5年度中学生海外体験学習事業報告

いわて釜石ラグビーフットボールクラブの応援 9月28日

第一回ワールドアマチュアラグビーフェスティバルに出場している、いわて釜石ラグビーフットボールクラブを、マルセル・ルーリーがいかにボールクラブと一緒に応援しました。

会場は、岩手・釜石チームへの「Japon! Japon! (日本!)」の大応援に包まれていました。

残念ながら試合は負けてしましましたが、国境という垣根を越えて一丸となってチームを応援する貴重な機会となりました。

ラグビーワールドカップ 2023の観戦 9月28日

初めてということもあり、生徒たちは言葉も文化も異なる環境に不安を隠せず、到着直後のホストファミリーとの顔合わせでは、表情に緊張の色が見てとれました。しかし、翌朝には、生徒たちは満面の笑みで待ち合わせ場所に現れ、ホストファミリーがいかに暖かく迎え入れてくれたか、片言の英語や身振り手振りで意思疎通を図ったことなどを教えてくれました。言葉がわからなくても国際交流はできるという大きな気づきを得たと思います。

今回の貴重な経験は生徒たちの成長につながるものであり、この経験を糧として、生徒たちが釜石とディー・ニユ・レ・バン市や世界をつなぐ架け橋になるなど、グローバルに活躍することが期待されます。

（報告者 国際交流課 主査 東 洋平）



平田小学校からのメッセージを掲げて
応援する子どもたち

釜石市の中学校部活動の地域移行に向けて

アンケート調査結果・小学生

部活動地域移行推進協議会の開催

少子化に伴い、中学校の部活動の継続の難しさと同時に、生徒の多様なニーズに応じたスポーツ・文化活動に親しむ機会の確保、教員の負担減少が求められ、全国的に部活動の地域移行の検討が行われています。

昨年度、スポーツ庁、文化庁が策定した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」をもとに、釜石市でも、地域移行に向けての検討を進めています。

八月から九月にかけて、中学校の部活動の地域移行や地域連携の在り方を検討する「釜石市中学校部活動地域移行推進協議会」及び、「ワークショップ」を開催しました。さまざまな立場の方に出席いたただき、他方面からご意見をいたしました。

今後、さらに課題等についてより具体的な検討を進め、方針を決定していきたいと思います。

少子化に伴い、中学校の部活動の継続の難しさと同時に、生徒の多様なニーズに応じたスポーツ・文化活動に親しむ機会の確保、教員の負担減少が求められ、全国的に部活動の地域移行の検討が行われています。

昨年度、スポーツ庁、文化庁が策定した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」をもとに、釜石市でも、地域移行に向けての検討を進めています。

八月から九月にかけて、中学校の部活動の地域移行や地域連携の在り方を検討する「釜石市中学校部活動地域移行推進協議会」及び、「ワークショップ」を開催しました。さまざまな立場の方に出席いたただき、他方面からご意見をいたしました。

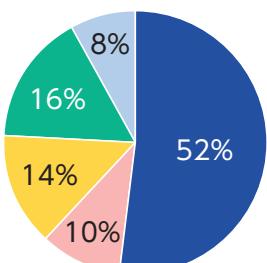
今後、さらに課題等についてより具体的な検討を進め、方針を決定していきたいと思います。



【対象】
● 小学校四年生から六年生
● 全中学生
● 小学校四年生から中学三年生までの保護者

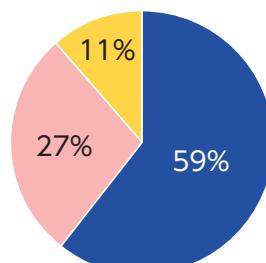
部活動の現状と児童生徒、保護者のニーズを把握するために、アンケート調査を実施しました。その結果を抜粋し、紹介します。なお、すべての結果については、釜石市のホームページで公表しておりますので、ご覧ください。

中学校の部活動の参加希望について



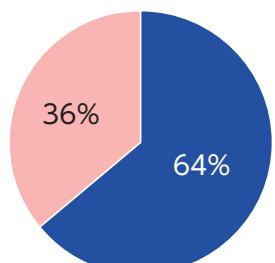
- スポーツ系の部活動に加入したい
- 文科系の部活動に加入したい
- どちらか決めていないが加入したい
- 加入するかどうかわからない
- 加入しない

学校外の活動について



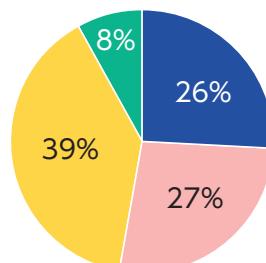
- スポーツ関係
- 習い事や稽古ごと
- その他

学校外で継続して参加している活動はありますか？



- ある
- ない

地域移行した場合の参加希望について



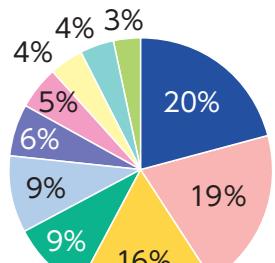
- ぜひ参加したい
- どちらかというと参加したい
- あまり参加したくない
- 全く参加したくない



小・中学生の自由記述

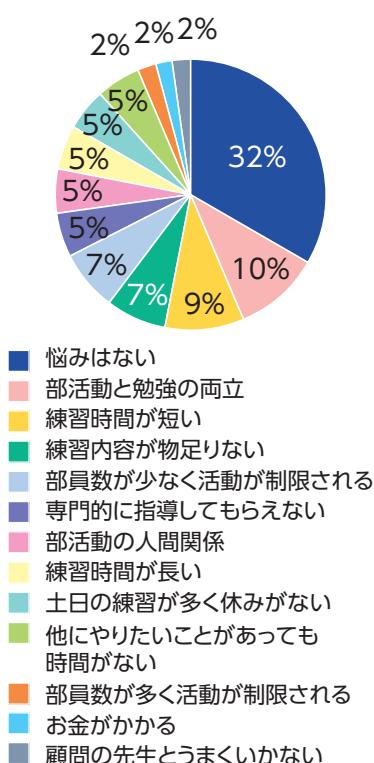
- ・専門的な指導者に教えてほしい。
- ・レベルが上がったり、他校との交流も多くなったりし、成長できる。
- ・部活動も友達との思い出作りの一つだし、地域移行してほしくない。
- ・地域全体が活性化するのでいい。
- ・練習時間の上限などを決めてほしい。
- ・やりたい活動を生徒に聞いてほしい。
- ・他の人とうまくやっていけるか不安。
- ・部活動は楽しくやりたい。

部活動に加入したい理由



- その種目に興味がある
- 体力・技術の向上
- 友達と楽しく活動したい
- 大会等で良い成績をとりたい
- 思い出作り
- 将来の目標達成のため
- 興味がある
- 授業以外で多くのことを学ぶことができる
- 強豪校に進学したい
- その他

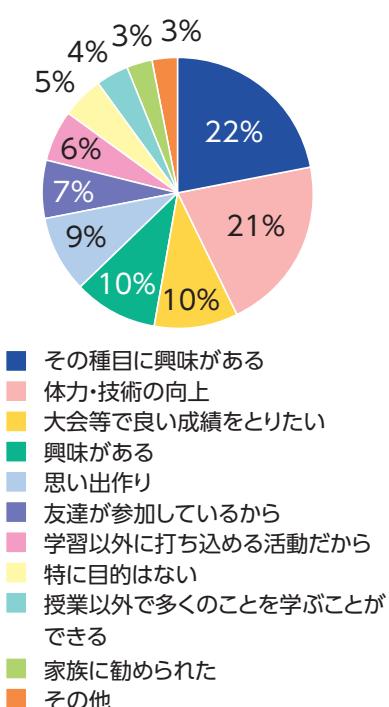
部活動の悩み



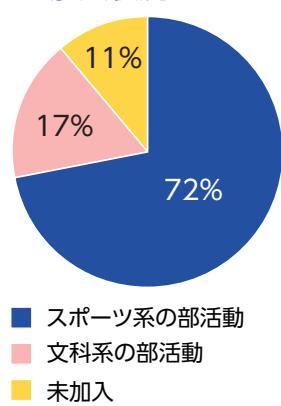
保護者の自由記述

- 選択の幅が広がることで、子供の意識も向上する。
- 部員数が少ないのでチームを組めないこともあるので、できるだけ早く進めるべきである。
- 専門の指導者に指導してもらえることは、子供の活動の充実につながる。
- 親の送迎、金銭的な負担、指導方法の相違等が不安である。
- 金石で指導者が確保できるのか疑問。
- 土日の部活動自体をなくしてもいいのでは。
- 先生方の負担を減らすことで、学習や生活への指導に力を入れてもらえる。
- 活動場所、指導者への報酬、学校との連携、大会参加の仕方などの課題がたくさんある。

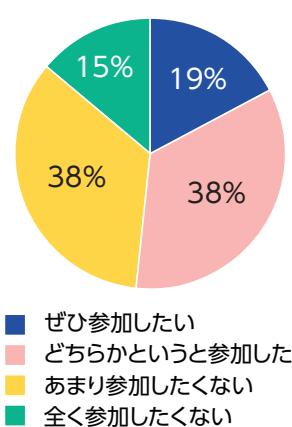
部活動に加入している目的



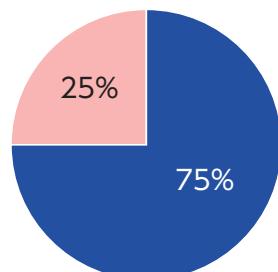
現在の部活動の加入状況



地域移行した場合の参加希望について

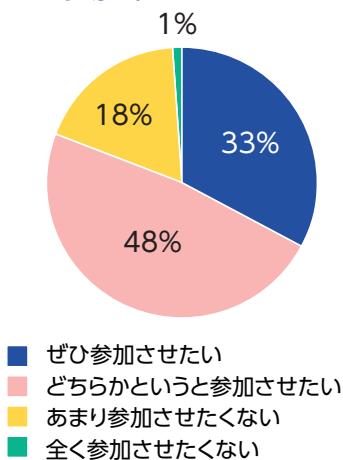


現在の所属について

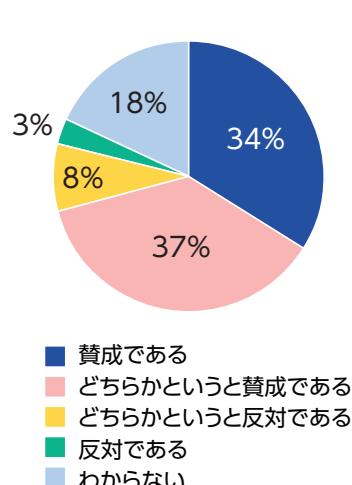


- やりたかった種目である
- やりたかった種目がなかったので、設置されているものから選んだ

地域移行した場合の参加希望について



地域移行へのご意見



フランス 海外体験 学習報告



中学生海外体験学習事業を通じて



佐々木 著
中 お

講題解決に向けで真摯に取り組む力を身に着けるための研修です。研修では、体験は初めてのものが多く、緊張もありましたが、楽しい気持ちが出来ました。ホストファミリーはみんなとてもフレンドリーで明るく、優しい方たちでした。日本から持つて行つたお土産もとてもよろこんでくださつて、特にけん玉を気に入つてくれました。年が近かつた3人とはすぐに仲良くなれて、たくさんのことを丁寧に教えてくれました。朝一緒に登校した学校でも友達を紹介してくれて、国境を越えてくれました。言語は違つても気持しました。

私はこの研修を通じて改めて世界は広いんだなと実感しました。そして国境を越えた繋がり、絆を感じました。アマチュアラグビーのオープニングセレモニーの時、どの国の選手たちも楽しそうで生き生きとしていました。この繋がりの輪をもつと広げていけば、よりよい社会をつくることが出来ると思います。私はこの貴重な体験を多くの人に伝えたいです。そして、より多くの人にディーニュ・レ・バン市のこと、世界のこと興味を持つてもらいたいです。グローバル化が進む社会でそれぞれがお互いいを認め合い、尊重して共存していく社会になるよう

「感謝して下さい」と言つて、
れたことが心に残つていま
す。ホームステイを通じて
積極的に自分の思いを伝え
ること、伝えようとすること
とが大切だと学びました。
別れは悲しかつたけど、悲
しいと思うほど仲良くして
くれて、私たちに貴重な経
験をさせて下さったホスト
ファミリーに心から感謝し
ています。

海外体験学習を通して



大平中学校3年
左藤威い由し

ちが通じるんだと実感しました。最後の日の夜は、ホストファミリーと色々な話

に、まずは自分が世界を知り、理解を深めていきたい
と思います。

ボーリムステイ先は、同じ年代のルイス君と父親がいました。学校の先生をして、いる母親は、現在アフリカで働いていて二人で家事を分担していました。私は「何か手伝いましょうか?」と英語で尋ねたところ、「特に大丈夫だよ」と言ってくれました。自分の英語が伝わるか不安でしたが、コミュニケーションを取ることができ嬉しかったです。その後は、自分から話しかけることを意識し、ルイス君と仲良くなることができました。コミュニケーションをとる際、表情をうまく使うこと、文法を意識しすぎない事等、やつてみなれば感じられない多くのことを学びました。

佐藤威伸（しのぶ） 大平中学校3年

間だつたと思ひます。印象に残つたイベントとしては、ラグビーワールドカップの日本対サモア戦の観戦です。間近で選手同士がぶつかり合う迫力、多くの中のサポーターの歓声、会場を取り巻く熱氣は決して忘れられません。また、復興支援の感謝をディーニュ・レ・バン市長に伝えることができ、今後も両市の交流が続いてほしいです。

これらの体験を通して、掲げていた目標を実現するためには、積極的に様々なことに関心を持つことが重要だと感じました。この経験を今後の生活に活かし、生まれ育つた釜石市のために貢献できる人間に成長できるよう頑張りたいと思い

生徒が来た場合、同じように30分も質問が続くでしょうか。彼らの好奇心や積極性に触れ、多くの刺激を受けました。他にも、日本とは異なる「当たり前」に多くの触れられたことは、自分の「当たり前」をいい意味で教えてくれる貴重な時

「釜石市立小・中学校における学校規模の適正化（適正配置基本方針）」の策定に向けて

佐々木ひづるさんが教育委員に就任



佐々木 ひづる委員

福成菜穂子さんが、令和5年9月30日をもって、任期満了により教育委員を退任となりました。

新たに、釜石市議会9月臨時会において、議会の承認を得て市長が令和5年10月1日付けで、佐々木ひづるさんを教育委員に任命しました。

任期は令和9年9月30日までです。

